

# 最 善 美

「最善を尽くせ」  
「美しくあれ」

令和4年9月20日(火) 発行責任者：校長 津金光彦

## すべての学年でこれからの人生に生きる貴重な体験をしました！

9月14日(水)に、3学年では“認知症サポーター養成講座”を、2学年では“職場体験”を、1学年では“放射線教育(東日本大震災・原子力災害伝承館訪問)”を、それぞれ実施しました。3年生、2年生は、これからの人生を生きていく中での「予習」になったと思いますし、1年生は東日本大震災以降、福島県がどのように復興・再生しているのかを学ぶことができたと思います。

### 【写真で振り返る“認知症サポーター養成講座”】



### 【写真で振り返る“職場体験”】



### 【写真で振り返る“放射線教育(東日本大震災・原子力災害伝承館訪問)”】



## 地区合奏祭でも「最善を尽くし」ました！

去る9月15日(木)に、須賀川市文化センターで「令和4年度 岩瀬地区小・中学校音楽祭第2部(合奏)」が開催されました。鏡中吹奏楽部は、部員22名(3年9名・2年4名・1年9名)で「ルールウェイ」という楽曲を演奏しました。『部員全員でステージに立つのは初めてでしたが、機関車が様々な風景を力強く走るイメージをもち、精一杯演奏してきました。』(顧問・野原先生)



## 真の「美しくあれ」は心の奥底から…

先日、登校中にこのような出来事がありました。あるクラス的女子生徒(Aさん)が校門を先に通過、後ろを同じクラス的女子生徒(Bさん)が追う形になりました。Aさんの通学カバンの片方のバックルが外れていることに気づいたBさんが、Aさんに近づき、バックルをはめたのです。

感動しました。Bさんは、きっととっさに反応し、バックルをはめたのですが、その「心」と「行動」に校訓である「美しくあれ」を感じました。

『心は見えないけれど、心づかいは見える。思いは見えないけれど、思いやりは見える。』

このようなほんの少しの「思いやり」の輪(和)が、学校をあたたくしていくのです。

